

ふと祭り

小、ちいお、ちん

僕は、お祭りが大きらいでした。僕の育った所は、
小、ちいな村でした。小学生のころから、僕は
いじめられ、こでした。春になると、お祭のじゅんぴとか
で、村の小学生が、あま、こ、じゅんぴをするんですが、
その時が、いちばんいやでした。同級生のいじめ、子
や先、はいのいじめ、子もみんなあつまるからです。
それがトラウマになり、中学生になっても、お祭りにいく
ことはなかつたです。大人になり、僕はホームレスになっ
てしまいました。そのころは、お祭という、僕は、いるな
所に、いきました。なぜかという、たくさんのアルミ缶が
出るからです。僕が、ホームレスになったのは、大阪で
した。大阪は、アルミ缶を買、こくれる所が近くに、たく
さんありました。30代になっても、ホームレスの世界から
ぬけた、せす、い、ました。僕にと、こ、お祭は、あ、え、ぶ
所ではなかつたです。そんな中、30代のころに、

大阪のある所で露店のこつたいをしこと言われ

夏と正月のいそがしい時はこつたいにいきました。

お祭は、きらいだけど、商はいは好きなのさ。

いって、いました。露店のこつたいは、いがいとハードで

30のなかばで、やめました。そのころにリーマンショック

とかで、(はけん切り)とかがあり、けいさが、不けいき

になりました。生活保護も受けました。たけど、

ホームレスのなまぬるいかんがえが、ぬけずに、

またホームレスにもどりました。そのころにつるんでいた

人に、セックイシューのことを聞き、始めるようになりまし

た。僕は今でも、お祭は、すきではないです。

人が多し、お金が、かかるし、つかれるし。

たけど、早くホームレスからぬけたし、いつの日かに

けこんして、子供が、できたら、お祭に、かぞくて

いきたいな。そのためにいまは、1日も早、路上生活

から、ぬけたいです。(かなぬけたいぬかもる)

以上!

講評

ぼくも地域の祭はあまり好きではありません。「みんなで楽しむ」と歌っているように、じつはその地域の力関係の確認みたいになっているからです。そういうものとは違うお祭りにしたくて、路上文学賞を始めました。小っちゃいおっちゃんみたいな正直な方が参加してくださって、とても嬉しいです。生活保護から「ホームレスのなまぬるいかんがえがぬけずに、また、ホームレスにもどりました」というくだりは面白いですね。一般には逆に、生活保護のほうが「なまぬるい」と考えられているからです。路上という現場からの正直な感覚ですね。(選者・星野)